Point 53 事例紹介

新聞やホームページを使って上手に情報提供をしている事例です。茨城県水戸市にある、てんかん患者のみを診療 する水戸クリニックの院長の向井葉子先生にお話を伺いました。

― マンガにホームページと広報活動に力をいれ ていますね。なぜですか。

病気のことを心配しすぎずに日常生活を送ってほし い。そう願って患者さんの疑問に一つひとつ答えてい たら、こうなりました。てんかんは、説明が難しい病気 です。頭部の大けがや、脳の感染症、脳梗塞や脳出血、脳 腫瘍、極端な低体重で生まれたことや、アルツハイマー などが原因になりますが、3分の2の人は原因不明で発

> ホームページに掲載されたてんかんの患者さん のための情報一覧。

一つひとつにわかりやすい解説文とマンガが 添えられています。

- 団 てんかんとは?
- * てんかん発作の症状
- → てんかんの原因
- * てんかんの治療
- → てんかんとひきつけ
- → てんかんと熱性けいれん
- 🛛 てんかん・生活の手引き * 睡眠不足とてんかん発作
- * てんかんと入浴・お風呂
- * てんかんと運動
- * てんかんと仕事・就職
- ⇒ てんかんと運転免許
- * てんかんと結婚
- * てんかんと妊娠・出産
- ⇒ てんかんと修学旅行
- てんかんと予防接種

症します。それでも6割の方は薬で発作を抑えることが できます。ただ、生活上の注意をいくつか知っておく必 要があります。そのため説明に力を注いでいます。もう 一つ、患者さんのなかには、診断がつくととても落ち込 んでしまう方もいらっしゃいます。当然です。けれど、 運転や入浴など、ポイントをおさえれば、多くの場面で 通常の生活を送ることができるのです。

でんかんといえば、子供の病気というイメー ジですが…。

大人の方もいます。 高齢の方は脳血管障害からてん かんを発症するケースが多いのです。

― 大人の患者さんに難しい説明は?

車の運転ですね。てんかんと診断されてまず心配す るのが、運転の問題だと思います。免許を返すと「仕事 に就けない」、「生活できなくなる」…。そんな方に、運 転をしないように説明するのは難しいです。「最近、発 作は起きていない」と嘘をつく人もいます。





お答えいただいた葉子先生 /

向井 葉子

千葉大学医学部卒 研修病院勤務を経て、 平成16年4月より水戸クリニック常勤医師 平成18年4月、水戸クリニック副院長に就任 平成22年10月、水戸クリニック院長に就任 平成24年4月、向陽会水戸クリニック理事長を兼務 『てんかん"ケア学"』の確立を目指し、奮闘中。 著書『ひきつけ児・者の生活の手引き』(水戸クリニック)

クリニックデータ

水戸クリニック

〒310-0015 茨城県水戸市宮町3-4-4 TEL:029-231-0534 http://hikitsuke.jp/

– 嘘をつく人がいるんですか。

いらっしゃいますね。運転してないですよね、って聞 いたときに、返事に力がなかったり、間があいたり、目が 泳いだりします…。

─ 嘘をつく人にどうやってアドバイスを?

まずは患者さんの考えをしっかりきいて、受け入れま す。その上で話したり質問したりすれば、やがて本当の ことを開示していただけるようです。

-- そうなると、お話の時間がかかりそうですね。

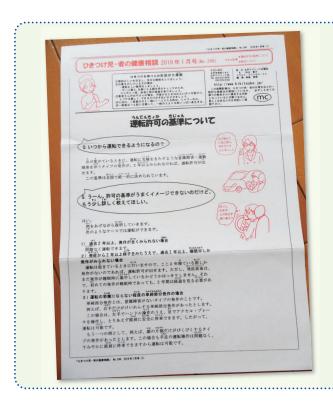
初診のかたは1時間半くらいかかる場合もあるので すが、患者さん自身が状況を正しく理解しなければ、た だお薬をだしても飲んでいただけないのです。てんか んといっても、発作のタイプはバラバラ。ご自身は「軽 い」と思っていても実は数十秒から数分意識がぼやけ ていることがあります。

─ 患者さんは、状況を自覚したら運転を手放さ れますか?

まだ難しいですね。前の病院さんで「運転ができない かもしれない」と聞いていた場合は、診断の根拠と、運 転でどんな事態になりうるかをよくお伝えすれば、納得 いただけます。当院で初めて運転禁止をお伝えした場 合は、当日は納得いただけないこともありますね。「生 活があるので」となるわけです。

ですから、どうすれば運転をしなくても生活できるよ うになるか、その人の生活スタイルを聞き提案します。 バスや電車など公共交通機関の使い方をお伝えするこ ともありますし、職場にどのように病気を伝え、どのよ うに通勤や勤務について配慮を求めるか、お伝えします。





※ ホームページに寄せられた声

水戸クリニックさんのホームページを みて、啓発されました。札幌に住ん でいますが、水戸クリニックにいって もいいですか?

私どものホームページに興味をもたれた とのこと。ありがとうございます。しかし、 やはり病院・クリニックは、お近くの病院・ クリニックに受診されることを心からおす すめいたします。てんかんは、一回の受診で 治る病気ではありません。長い年月の通院 が必要です。札幌から水戸へでは、とても通 いきれないと思います。私どものクリニッ クは、基本的に茨城県にお住まいの、てんか ん患者さんのためのクリニックです。

新聞やホームページなどの広報ツールを作るのは、ご自宅で不安になった時にも確認できるようにしたいから、と いう葉子院長。スタッフによれば「とにかく誠実」。それゆえでしょう。こちらのホームページには上に紹介したよう に札幌から通いたいとメールが届いたこともあるそう(※)。実際の診療圏はとても広く、東京や福島からも患者さん が通っていらっしゃいます。

(瓜生 千鶴)